

令和7年度 第2回市政モニターアンケート

「広報紙」の集計結果からの考察

回答率 33/50 人 66%

問 1～3 閲覧の頻度や媒体

広報ふじのみやを読んでいる人は、紙媒体で読んでいる人が半数以上いるが、パソコンやスマートフォンでも読む割合が高い

回答者33人のうち30人が、広報ふじのみやを読んでおり、持ち家で自治会からの配布で広報ふじのみやを読んでいる人の割合は75%強となる。

また、パソコンやスマートフォンで読んでいる割合も30%弱と割合が高く、自治会の脱退や、デジタル化を鑑みると増加していく傾向にあると思われる。

パソコン/スマホで読んでいる人14人のうち、11人(78.5%)は自治会の配布のものも読んでいる。

問 3-2～3-3 読んでいるページ

広報ふじのみやは、気になったページを読み、他のページは流し読みの傾向にある。中でもイベント情報などのお知らせは、よく読まれる。

イベント情報やお知らせ、補助金などを掲載している「見逃せない情報」を読んでいる割合が1番高く、次いで「いきいきライフ」などの健康・福祉の記事を読んでいる割合が高い。

その一方、ごみリサイクルやスポーツ、ビジネスコネクトふじのみやなど1ページ完結の市の取り組み紹介するページも読んでいる割合も高い。これらのページは、縦2列の構成となっているため、読みやすく感じる人も多いかと推察する。

問 3-4～3-5 気になった記事 記事を読んで役に立ったこと

身近な出来事や人などに関係した記事は気になる傾向にある。
広報紙を読んでイベントなどに参加している人も多い。

定例の記事、特集記事の双方とも同じ割合で気になっている。イベントやお知らせの記事を見てイベントに参加している人も多く見られる。詳しくは別紙参照。

問 3-6 掲載してほしい内容や改善点

個人の気になるものを記事にして欲しい要望がある一方、改善点はないという意見も。

個人個人のライフスタイルに合った掲載記事の意見では、国や県と連携した記事から、クマ出没・特殊詐欺の発生状況の周知などの意見が見られた。

一方で現状のままでいいという意見も8件あった。中には、「いろいろなテーマが幅広く掲載されている。」という意見も見られた。

問 3-7 よかった写真

祭りの写真の人気の高い一方、12月号の表紙を含めて小中学校の運動会の特集の
人気も高い。

定例的な祭りの写真人気が高い一方、今年度は、組み写真の新たな取り組みとして、
市内の小中学校の運動会を特集した。こどものいきいきとした姿やがんばっている様
子が、読者の需要に応えたことが要因か、このアンケートでも人気が高かった。

問 3-8 広報紙のパンチ穴

パンチ穴は必要なし。

27/30人(90%)がパンチ穴は必要なしと回答している。

問 4、4-2

広報紙を読んでいない理由は、個人的に必要な情報がないや、単に読んでいないな
どの理由があげられた。

別紙参照。

問 5 ほかに読んでいる広報紙

広報ふじや県民だよりが多い。

近隣市町や県が配布しているものを読んでいる人が多いが、中にはアプリを使用し、
県外の広報紙を見る人もいる。

問 6 市の取り組みやニュース、地震のことで気になること

クマの出没など、時事ネタが多い。他には、自身の生活に関係することなど、身近
なものが多い。

別紙参照。